講演　海上交通管制の機能的発展と展望

（第116回月例会）

船舶交通がふくそうする我が国の港や沿岸部には、航行船舶の交通整理のための交通管制と船舶への情報提供を行う「海上交通センター」が７か所に設置されています。

海運界では 2040 年に国内を航行する船舶の 50%を無人運航化するという目標を達成するために自動運航船の実証実験が行われています。

自動運航船と従来型船舶が混在して航行する海上交通環境下において、安全かつ効率的な共存を実現するために、海上交通管制に求められる新たな機能や役割とは？

今回は海上保安大学校から講師を迎え、海上交通管制の現状と課題について講演していただきます。

■講　師

海上保安大学校　海上警察学講座　講師　鮫島　拓也　氏

■開催日時

令和７年３月２５日（火）１５：００～１６：００頃まで

■開催場

神戸市中央区東町１１５番地　　神戸市中央区文化センター　１０階
１００１－１００２会議室（定員　５０名）

■主　催

公益社団法人　神戸海難防止研究会（担当：渡川又は藤原）
電話　０７８　（３３２）　２０３５

入場無料　（定員50名）

日本海事センター
JMC
補助事業